斷郊競走の感想

廣島　英雄

時は十月十六日丁度秋酣といふ頃である、季節から云ひば所謂運動「シーズン」である。この日朝霜が降つてうすら寒かつたが終日絶好の日和に恵まれたのは有難かつた。生徒の面々早くも集ひ來つて思ひ〳〵の人とあちらこちらに輪になり或は立ち或は腰をかゞめて何やら面白さうに笑ひどよめいてゐる、話題は確今日の「レース」の有樣を想像して話に花を咲かせてゐるのであらうと思つた。

やがて豫定の時刻となつて生徒等は集合を命ぜられ生徒隊を編成して之より觀武ヶ原に向つて約一里の道を行軍せねばならぬのであつた。九時に豫定地に到着し、生徒等はこの廣漠たる野に於て始ての催しに苦みある事を知らず只珍さに躍起になつてゐる樣に見えた、氣の早い連中は「ユーニフォーム」姿で「コース」を駈けてゐる者もあつた。

當日は幸ひお天氣に恵まれ御案内申して置いた騎兵兩聯隊長を始めとし中等學校長及市内の各小學校長樣が態々御出席下さつたためこの會をして益々光あるものとした。

先づ全員を集合せしめ道順を説明し必要なる注意を促し、各學年を身長順に大組と小組に二等分して都合六組を作つた。一方炊事係りては一生懸命にお午の芋子汁の準備に忙しい。いよ〳〵一年の小組より「スタートイライン」に並んだ、彼等は各々燃ゆるが如き緋の鉢巻をしかと頭に結びつけ武者振ひに勇み立ち、今にも駈出ださんと「ピストル」の合圖の無いうちから「ピストル」の掛聲に生徒は一番を勝ち得やうと云ふよりも寧迷子にならぬやうにと胸を張り詰めてゐたであらう。

彼等の胸にうちに横隊に並んでゐた筈の生徒が雁の飛ぶが如く一列縱隊になつて駈けて行く、先に立つた者は丁度道案内の樣に見えた、或は綠の松の間から、或は枯葉の間からぽらぽらと走り行く勇士の白い姿が見える、併し彼等は誠に壯觀である、併しなければ等の苦辛はその人でなければ知る事が出來ない。次は二年の小組、次は三年の小組と十分置きに出發し全部小組が終ると又一年の大組から二年の大組、三年の大組と滯り無く全部出發させた。二年の走路は一年のそれより難路を含み三年は二年のそれよりも難所が多い「ランナー」は或は草原を走り或は藪を潜りぬけ、或は林を或は小川をと云つた風に自然の障害を悉く走破し通過して「ゴール」に入る頃は皆奮鬪の跡が伺はれた。

諸君は大自然と戰ひその上各人が先を競ふてゐるのであるからその努力たるや常にはは見られないものがあつた。その物々しい顏色、默々として走り續ける樣は一種の莊嚴さと凄味とを感じさせた。

「ピストル」の掛聲に生徒は一番を勝ち得やうと云ふよりも寧迷子にならぬやうにと胸を張り詰めてゐたであらう。

彼等の胸にうちに横隊に並んでゐた筈の生徒が雁の飛ぶが如く一列縱隊になつて駈けて行く、先に立つた者は丁度道案内の樣に見えた、或は綠の松の間から、或は枯葉の間からぽらぽらと走り行く勇士の白い姿が見える、併し彼等は誠に壯觀である、併しなければ等の苦辛はその人でなければ知る事が出來ない。次は二年の小組、次は三年の小組と十分置きに出發し全部小組が終ると又一年の大組から二年の大組、三年の大組と滯り無く全部出發させた。二年の走路は一年のそれより難路を含み三年は二年のそれよりも難所が多い「ランナー」は或は草原を走り或は藪を潜りぬけ、或は林を或は小川をと云つた風に自然の障害を悉く走破し通過して「ゴール」に入る頃は皆奮鬪の跡が伺はれた。諸君は大自然と戰ひその上各人が先を競ふてゐるのであるからその努力たるや常にはは見られないものがあつた。その物々しい顏色、默々として走り續ける樣は一種の莊嚴さと凄味とを感じさせた。

「用意！」の掛聲に生徒は緊張した、やがて「スタート」は一發の「ピストル」の號音と共になされた。見る程度に依つて力の差が生じて來るのである、併し諸君は自分自身の「ベスト」を盡したといふその努力は尊いものである、諸君はこの機會に於て努力の程度が我々の仕事を如何に左右するかを知つたであらう、即ち成功せんとするには大なる努力が如何に必要であるかを物語つてゐる。

運動競技は本來の人間本能たる爭鬪的野性から生れた征服慾の滿足を如實に示したものである、諸君は自身の「ベスト」を盡したといふその努力は尊いものである、諸君はこの機會に於て努力の程度が我々の仕事を如何に左右するかを知つたであらう、即ち成功せんとするには大なる努力が如何に必要であるかを物語つてゐる。

運動競技は本來の人間本能たる爭鬪的野性から生れた征服慾の滿足を如實に示したものである、諸君は自身の「ベスト」を盡したといふその努力は尊いものである、諸君はこの機會に於て努力の程度が我々の仕事を如何に左右するかを知つたであらう、即ち成功せんとするには大なる努力が如何に必要であるかを物語つてゐる。

この「レース」の念の强烈な者が大なる努力を拂ひ、而して其結果大なる事業に成功してゐる例を多く見受ける。この「レース」もそうした人生々活の根本的法則を暗示してゐると考へる事が出來やう。

十一時半「レース」は全く終りを告げ一同廣野に小さい輪を作り各々勝手な話を語合ひながら溫い芋の子汁に舌鼓を打ちつゝ滿腹の體で中食を終り、しばらく休憩の後整列して校長の閉會の御挨拶があつて校歌を合唱し解散したのは二時であつた。

君は自己の持つ總ての力を擧げて戰つたのだ、諸君の努力に依つてこの「レース」が完全に終了したときに私は思はずほつとした。それは先づ無難であつた事を喜んだ瞬間であつた。

諸君は「スタートライン」を離れるときは同時になされたが「ゴール」に歸へり着いたときは一人々々別々になつてゐた、之は諸君の力をそのまゝ示してゐるものと思はれる。只力と云つても漠然として解し得ないかも知れぬが、之を分けて說明するならば身體的能力と精神的能力とそして練習の程度に依つて力の差が生じて來るのである、併し諸君